

1. かいてき～都市・生活基盤分野～快適に暮らせるまち

1-1.計画的な市街地整備

| 施策 | 平成19年度 事務事業名 | 19年度決算額 | 財源内訳 | | | | 事務事業 平成19年度活動量 | 施策 | | |
|------------------------------|-----------------------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|----------------------|--|----------------|---|
| | | | 国県支出金 | 地方債 | 特定財源 | 一般財源 | | 施策目標と基準値 | 平成19年度 施策進捗 | 達成状況 |
| | 桑窪Ⅱ地区事業費 | 493,500 | | | | 493,500 | 地籍調査面積 20ha | | | |
| | 石末Ⅲ地区事業費 | 3,963,196 | 2,010,000 | | | 1,953,196 | 地籍調査面積 13ha | | | |
| 1-1-1 宝積寺駅西第一土地 区画整理事業 | 区画整理事業費 | 178,016,465 | 69,963,000 | | | 108,053,465 | 移転件数 6件 | 家屋移転の進捗率 平成16年度進捗率 60.9% (67戸/110戸) 平成20年度進捗率 80.0% (88戸/110戸) | 72.70% | 地権者との合意形成を含め2件の未契約繰越 があったものの、全体的には計画的に進められ ました。 ただし今後は、事業期間の延長の検討及び直 接施工の見極め検討を行う必要があります。 |
| | 区画整理事業費 (繰越明許) | 27,241,500 | 4,950,000 | 9,000,000 | | 13,291,500 | 移転件数 2件 | | | |
| | 区画整理事業特別会計 繰出金 | 225,368,000 | | | | 225,368,000 | 移転件数 7件 | | | |
| 1-1-3 宝積寺駅及び 駅周辺整備事業 | 駅周辺整備事業費 | 57,908,100 | | 23,000,000 | | 34,908,100 | 駅周辺整備の進捗率 95.0% | JR宝積寺駅の橋上駅及び関連道路の 進捗率 平成16年度進捗率 31.4% 平成19年度進捗率 100% | 99.90% | 東西連絡通路及び橋上駅舎を整備し、東口を 開設したことにより、朝・夕の通勤通学送迎者 による渋滞は解消されました。 駅東に整備したちよつ蔵広場は、多くの人に利 用されるとともに、町内外から多くの視察者が集 まるなど、新たな町の資源としての効果を発揮し つつあります。 |
| | 橋上駅舎整備事業費 | 300,590,251 | | | 170,000,000 | 130,590,251 | 橋上駅舎整備の進捗率 100.0% | | | |
| | 橋上駅舎整備事業費 (繰越明許) | 244,793,000 | | | 244,793,000 | | 橋上駅舎整備の進捗率 100.0% | | | |
| | 東西連絡通路整備事業 費 | 117,650,750 | 11,200,000 | 80,000,000 | | 26,450,750 | 東西連絡通路の進捗率 100.0% | | | |
| | 東西連絡通路整備事業 費 (繰越明許) | 239,240,000 | 136,000,000 | 86,000,000 | | 17,240,000 | 東西連絡通路の進捗率 100.0% | | | |
| | 町道560号線(ちよつ蔵 への道)道路整備事業費 | 10,836,000 | | 8,000,000 | | 2,836,000 | 道路整備進捗率 100.0% | | | |
| 1-1-5 公園整備 | 公園管理事業費 | 7,339,500 | | | | 7,339,500 | 公園改修箇所 1件 | 公園美化ボランティア育成団体数 平成16年度 0団体 平成22年度 12団体 | 0団体 | 既存公園の改修及び適正な維持管理を行いま したが、今後は維持管理経費のコストダウンを 図っていく必要があります。 公園美化ボランティアは、今後運用方法を詰め ていきます。 |
| 1-1-6 適正な土地利用の推進 | 地域・地区指定見直し 事業費 | 4,320 | | | | 4,320 | 見直し面積 0ha | 見直し面積 平成16年度 0ha 平成22年度 560ha | 0ha | 現在、現状分析等各種データを作成中です。 県と協議しながら、見直しに向けて施策展開し ます。 |

1. かいてき～都市・生活基盤分野～快適に暮らせるまち

1-2.利便性の高い道路網の形成

| 施策 | 平成19年度 事務事業名 | 19年度決算額 | 財源内訳 | | | | 事務事業 平成19年度活動量 | 施策 | | |
|--------------------------|--------------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|---|---|----------------|---|
| | | | 国県支出金 | 地方債 | 特定財源 | 一般財源 | | 施策目標と基準値 | 平成19年度 施策進捗 | 達成状況 |
| 1-2-1 幹線道路の整備 | 町道380号線舗装修繕 事業費 | 52,303,000 | 42,000,000 | 4,500,000 | | 5,803,000 | H19工事延長 872m (全体整備計画延長 L=3,100m) | ・幹線道路整備進捗率 (町幹線道路24路線中8路線が完成) 平成16年度整備進捗率 33.3% 平成22年度整備進捗率 75.0% | 37.50% | 関係課と連携を図り、計画通りの進捗状況だったと判断します。 町道380号線は、全路線が完了してから事業効果を検証します。町道567号線は、県・芳賀町と連携しながら整備し、利用者にとって安心・安全な供用が図られたと判断します。 |
| | 町道567号線道路改築 事業費 | 25,437,060 | 14,300,000 | | 6,010,200 | 5,126,860 | H19工事延長 182.2m (全体整備計画延長 L=182.2m) | | | |
| 1-2-2 主要幹線道路の 整備促進 | 主要幹線道路要望 事業費 | 99,080 | | | | 99,080 | 要望路線数 3路線 (地域高規格道路国道408 号、県道北高氏家線、花 岡狭間田線) | 主要幹線道路整備進捗率 (国・県道11路線中8路線が完成) 平成16年度整備進捗率 72.7% 平成22年度整備進捗率 81.8% | 72.70% | 主要幹線道路の整備要望を続けることが効果的な手段だと判断します。 |
| 1-2-3 農道の整備 | 県単農道整備事業費 | 16,478,700 | 5,635,000 | | | 10,843,700 | 工事実施延長 742.2m (伏久、大谷宮下、花岡東 上) | 農道舗装率 舗装延長18,752m/農道延長92,643m 平成16年度舗装率(防塵舗装含) 20.2% 平成22年度舗装率 23.4% | 24.30% | 農道を整備することにより、受益農家の農耕作業効率が改善され、生活道路としての機能が向上し、生活環境の利便性に繋がりました。 |
| 1-2-4 道普請事業の推進 | 道普請事業費 | 2,338,796 | | | 2,338,000 | 796 | 住民からの申請による整備延長 494m | 道普請事業実施箇所数 平成16年度事業実施箇所数 7箇所 平成22年度まで毎年 10箇所 | 3箇所 | みんなで汗をかいた、かつての「道普請」の精神を取り戻して、道路を整備するばかりか、地域の絆が強めることは、まちづくりの手法のひとつとして有効な手段と判断します。 |

1-3.公共交通の充実

| | | | | | | | | | | |
|------------------------------|------------------|-----------|--|--|--|-----------|--------------------------------|--|------------------|---|
| 1-3-1 公共交通システムの 体系化と運用 | 公共交通システム整備費 | 3,541,568 | | | | 3,541,568 | 高根沢町公共交通計画策 定委員会開催回数 18回 | 元気あつぷ巡回バス、福祉バス、児童送 迎バスの利用者数 平成16年度利用者数 37,500人 平成22年度利用者数 41,700人 | 35,655人 | 高根沢町公共交通計画策定委員会において、高根沢町公共交通計画案を策定しました。 |
| 1-3-2 民間生活路線バスの 維持確保対策 | 民間生活路線バス 運行補助 | 5,949,333 | | | | 5,949,333 | 補助対象3路線の運行本 数 8本 | ・生活路線バス1日当たり便数 平成16年度1日便数 16便 平成20年度まで1日便数 16便 ・生活路線バス1日当たり乗客数 平成16年度1日乗客数 272.5人 平成20年度まで1日乗客数 260人 | 8便 232.1人 | 今後は需要を的確にとらえた新たな公共交通の導入が必要と判断します。 |

1-4.安心・安全・安定した水道水の供給

| | | | | | | | | | | |
|--------------------------|-----------------------|-------------|--|--|-----------|------------|--|--|--------|--|
| | 町道383号線配水管 布設工事 | 8,715,000 | | | 1,273,980 | 7,441,020 | 配水管布設工事延長 576.1m | | | |
| 1-4-1 石綿セメント管 更新事業 | 区画整理事業に伴う 配水管布設替工事 | 4,669,875 | | | 4,669,875 | | 配水管布設替工事延長 255.2m | 石綿セメント更新整備計画延長 25.616km 平成16年度進捗率 12.9% 平成22年度進捗率 61.0% | 32.80% | 他事業と計画的に事業を推進した結果、達成率を伸ばすことができました。有収率の向上と経営環境の改善を図るうえで、石綿セメント管の更新は必要であり、管の老朽化による漏水の防止、耐震化が図れました。 |
| | 配水管布設替工事費 (宝積寺地区) | 106,197,000 | | | 7,107,478 | 99,089,522 | 石綿セメント管布設替延 長 2,536m (全体延長 L=25,616m) | | | |
| 1-4-2 市街地配水管網 整備事業 | 配水管布設工事費 (宝積寺地区) | 20,422,500 | | | 586,276 | 19,836,224 | 配水管布設工事総延長 1,424.3m | 水量・水圧不足解消進捗率 総延長10km 平成16年度進捗率 0.0% 平成22年度進捗率 41.2% | 16.30% | 他事業と計画的に事業を推進した結果、達成率を伸ばすことができました。本管から分岐した複数の給水管を整理することで、管の維持管理が容易になり、又、給水が安定してきました。 |
| | 配水管布設工事費 (仁井田地区) | 2,646,000 | | | | 2,646,000 | 配水管布設工事総延長 205m | | | |

1. かいてき～都市・生活基盤分野～快適に暮らせるまち

1-5.生活排水処理の充実

| 施策 | 平成19年度 事務事業名 | 19年度決算額 | 財源内訳 | | | | 事務事業 平成19年度活動量 | 施策 | | | |
|---------------------|----------------------|-------------|------------|-------------|-----------|-------------|--|--|--|---|---|
| | | | 国県支出金 | 地方債 | 特定財源 | 一般財源 | | 施策目標と基準値 | 平成19年度 施策進捗 | 達成状況 | |
| | 公共下水道事業 特別会計繰出金 | 358,590,000 | | | | 358,590,000 | 污水管整備延長 5,077m 雨水管整備延長 436m | | | | |
| | 農業集落排水事業 特別会計繰出金 | 109,969,000 | | | | 109,969,000 | 普及戸数 453戸 | | | | |
| | 流域下水汚泥処理事業 (繰越明許) | 3,437,235 | | | | 3,437,235 | 汚泥処理に伴い製造した 資源を下水道工事に利用 した量 84t | | | | |
| 1-5-1 公共下水道污水管建設 | 宝積寺処理区 管渠建設費 | 209,351,000 | 88,300,000 | 118,200,000 | 2,851,000 | | 整備延長 5,077m | 公共下水道污水管整備計画面積 (宝積寺地区対象面積:438ha) 平成16年度整備済面積 154.8ha 平成22年度整備面積 190ha | 207.60ha | 地域説明会を開催したことで、工事の周知のみならず、受益者負担金制度や早期水洗化の理解を求めることができ、工事完了後の受益者としての意識付けが出来ました。 他の工事と同時発注することで、コストの削減、効率化を図ることができました。 | |
| | 仁井田処理区 管渠建設費 | 18,238,500 | 3,050,000 | | 9,642,000 | 5,546,500 | 整備延長 220.5m | | | | 公共下水道污水管整備計画面積 (仁井田地区対象面積:57ha) 平成16年度整備済面積 49.3ha 平成21年度整備面積 57ha |
| 1-5-2 公共下水道雨水管建設 | 宝積寺処理区 雨水対策建設費 | 129,684,850 | 61,280,000 | 61,500,000 | | | 6,904,850 | 整備延長 436m | 公共下水道雨水管整備延長 平成16年度雨水管理設延長 42m 平成20年度雨水管理設延長1,773m | 718.0m | 累積整備延長は目標より遅れているものの、区画整理事業に併せて計画的に推進しています。 宝積寺地区は宅地化の進展によって、地域での雨水処理がますます困難な状況をかえつつあります。浸水等の被害を小さくするために、整備の必要性は高いと判断しています。 |
| 1-5-3 水処理施設の拡充 | 宝積寺処理区 水処理施設建設費 | 62,259,000 | 34,100,000 | 23,800,000 | | | 4,359,000 | 余剰汚泥量(日当たり) 1.6t | 宝積寺地区アケアセンター 汚水処理能力 平成16年度1池 1,400m ³ /日 平成20年度脱水機増設 | 整備中 | 工事費について繰越が発生したものの、当初の工期である平成20年9月の完成に向けて順調に工事が進んでいます。 |
| 1-5-4 浄化槽の普及 | 浄化槽設置整備事業費 | 27,636,000 | 16,581,000 | | | | 11,055,000 | 町補助金で浄化槽を設置 した基数 68基 | 下水道・農集排区域外地域の 浄化槽設置数 平成16年度浄化槽設置基数 826基 平成22年度浄化槽設置基数 1,400基 | 1,064基 | 計画に沿って100基を目標に施策展開しましたが、建築基準法改正等により、新築・増築等の件数が極端に減少したため、目標件数までは到達しませんでした。 |
| 1-5-5 水洗化率の向上 | 水洗化促進事業費 | 2,045,559 | | | | | 2,045,559 | 供用開始区域内未接続世帯 (義務期間経過世帯) 125戸 | 水洗化率 平成16年度水洗化率 64% 平成22年度水洗化率 65% | 70.90% | 「接続のお願い」アンケートを実施(回答率54%)し、その後の通知・訪問活動により、125戸が接続しました。 19年度末の未接続世帯は1,513戸となっていますが、引き続きPRに努めます。 |

2. いきいき～保健医療・福祉分野～健やかにいきいきと暮らせるまち

2-1.健康づくりの推進

| 施策 | 平成19年度 事務事業名 | 19年度決算額 | 財源内訳 | | | | 事務事業 平成19年度活動量 | 施策 | | |
|----------------------|-----------------|-------------|------------|-----|-----------|-------------|---------------------------------------|---|----------------|--|
| | | | 国県支出金 | 地方債 | 特定財源 | 一般財源 | | 施策目標と基準値 | 平成19年度 施策進捗 | 達成状況 |
| | 高額医療対策費 | 650,000 | | | | 650,000 | 貸付件数 2件 | | | |
| | 国民健康保険特別会計繰出金 | 133,544,167 | 75,645,395 | | | 57,898,772 | 国民健康保険被保険者数 10,250人 | | | |
| | 老人保健特別会計繰出金 | 239,850,000 | | | | 239,850,000 | 老人保健受給対象者 3,032人 | | | |
| 2-1-1 正しい食生活づくり | 食に関する知識の普及事業費 | 1,970,243 | | | | 1,970,243 | 教室等参加延べ人数(健康教室、離乳食教室、出前講座等) 3,039人 | ・食事を1日3回規則正しく摂る人の割合 平成16年9月 79.3% 平成22年度 90.0% | 89.40% | 学校側のニーズに合わせて教室等を開催することができ、より多くの人に啓発することができました。食育推進行動計画策定作業は、会議における検討だけでなく、事業へも参加しながら進めており、委員自ら活動する意識がみられています。 |
| | 食育地産地消推進事業費 | 506,462 | | | | 506,462 | 会議回数 5回 | ・自分の適正体重を維持するカロリーや食事内容を知っている人の割合 平成16年9月 18.3% 平成22年度 30.0% | 34.20% | |
| 2-1-2 運動習慣づくり | 運動に関する普及啓発事業費 | 196,968 | | | | 196,968 | 運動教室参加延べ人数 1,200人 | ・定期的に汗をかく運動をしている人の割合 平成16年9月 38.3% 平成22年度 50% ・筋力アップ事業参加者数 平成16年度 211人 平成22年度 700人 | 31.60% | 教室参加者は目標を達成することができましたが、定期的に汗をかく人の割合はやや低くなっています。家庭での継続が難しく、習慣化までには至っていないと思われれます。 |
| 2-1-3 こころの健康づくり | こころの健康づくり推進事業費 | 666,484 | | | | 666,484 | 心理相談開催回数 36回 | ・年間相談件数 平成16年度 70件 平成22年度 200件 ・育児中の母親がストレスを感じる割合 平成16年度 20.6% 平成22年度 15.0% | 102件 23.00% | 心理相談は横ばいでしたが、事業への参加者が増え、いろいろな場で相談を受けることができました。ストレスを感じている家族に対しては、相談や教室を勧めたり、電話や訪問による見守りをしたり、適切なフォローができました。 |
| 2-1-4 たばこ・アルコール対策 | 知識の普及啓発費 | 57,645 | | | | 57,645 | 乳児健診でのアンケート実施回数 24回 | ・成人の喫煙率 平成16年9月 22.0% 平成22年度 15.0% ・成人男性のアルコール性肝障害の割合 平成16年度 20.8% 平成22年度 15.0% | 16.7% 16.7% | 乳児の周囲で喫煙を控えているという回答が多くなっており、啓発の効果が徐々に表れてきていると感じます。アルコール性肝炎を指摘されている人は減少してきています。 |
| 2-1-5 歯とからだの健康づくり | 健康診査事業費 | 35,199,575 | 7,495,695 | | 7,246,200 | 20,457,680 | 基本健康診査受診人数 3,074人 | ・5歳から9歳のむし歯で医療機関に受診する割合 平成16年度 0.5% 平成22年度 0.3% | 1.00% | 基本健診の受診者が増え、活動量は目標達成できました。生活習慣病予防は、小中学校の健康教育が定着し、多くの児童生徒に指導することができました。成人の健康診査後の指導では、メタボリックシンドロームの危険度に応じて階層化し、状態に応じた指導を行い、改善の必要性を理解してもらうことができました。 |
| | 生活習慣病予防事業費 | 3,046,213 | | | | 3,046,213 | 生活習慣病予防教室等への参加延べ人数 3,297人 | ・基本健康診査受診者数 平成17年度 2,450人 平成22年度 2,700人 | 3,074人 | |
| | フッ素塗布事業費 | 350,738 | | | | 350,738 | フッ素塗布開催回数 2回 | | | |

2. いきいき～保健医療・福祉分野～健やかにいきいきと暮らせるまち

2-2.高齢者福祉・介護の充実

| 施策 | 平成19年度 事務事業名 | 19年度決算額 | 財源内訳 | | | | 事務事業 平成19年度活動量 | 施策 | | |
|----------------------------|--------------------|-------------|-----------|-----|------------|--------------------|--------------------------------------|--|----------------|--|
| | | | 国県支出金 | 地方債 | 特定財源 | 一般財源 | | 施策目標と基準値 | 平成19年度 施策進捗 | 達成状況 |
| | 介護保険特別会計繰出金 | 184,005,000 | | | | 184,005,000 | 年間延べ利用者数 (居宅系サービス、施設入所) 7,398人 | | | |
| 2-2-2 地域包括支援センター の創設 | 介護予防特定高齢者 施策事業費 | 17,319,000 | 6,151,000 | | 8,048,000 | 3,120,000 | 特定高齢者 176人 | <ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センター数 平成16年度 0箇所 平成20年度 2箇所 要介護2～5の認定者数 平成16年度 463人 平成22年度 575人 | 1箇所 | 特定高齢者の介護予防事業は、対象者にまだまだ元気という意識が強く、参加が少ない状況にあります。一般高齢者の介護予防事業は、概ね好評を得ています。 |
| | 介護予防一般高齢者 施策事業費 | 265,251 | | | 265,251 | 事業対象者数 533人 | 504人 | | | |
| | 包括的支援事業費 | 10,763,755 | | | 10,763,755 | 事業対象者数 281人 | | | | |
| 2-2-3 高齢者の生きがい支援 | 働く場確保事業費 | 9,500,000 | | | | 9,500,000 | 延べ就業人数 13,880人 | <ul style="list-style-type: none"> シルバー人材センター登録者数 平成16年度 186人 平成22年度 286人 生涯学習講座参加者数 平成16年度 896人 平成22年度 1,949人 | 166人 | 元気な高齢者のいきがいづくりの場として、町開催事業や、グループ開催事業を共有し参加を増やしていきました。 |
| | 敬老会事業費 | 9,599,699 | | | 9,599,699 | 敬老会参加者数 353人 | 2,783人 | | | |
| | 戦没者追悼式事業費 | 118,898 | | | 118,898 | 追悼式参加者 101人 | | | | |
| 2-2-4 高齢者の生活支援 | 老人施設入所措置費 | 14,941,439 | | | | 14,941,439 | 養護老人ホーム入所者数 8人 | 介護保険新規認定者数 平成16年度認定者数 234人 平成22年度認定者数 311人 | 258人 | 安全を確保するため、緊急通報装置の利用をさらに進めていきます。高齢者の実態把握は、健康面でのフォローや生きがいづくりをフォローでき、大変有効な事業と判断しています。 |
| | 緊急通報装置貸付事業費 | 3,484,639 | | | 3,484,639 | 緊急通報装置貸与台数 103台 | | | | |
| | 在宅介護支援センター事業費 | 6,592,500 | | | 6,592,500 | 実態把握数 375人 | | | | |

2-3.障害者福祉の充実

| | | | | | | | | | | |
|--|--------------------|-------------|-------------|--|-----------|------------|--------------------|--|--|--|
| | 福祉タクシー事業費 | 2,032,290 | | | | 2,032,290 | 利用者数 162人 | | | |
| | 特定患者者見舞金 | 1,275,000 | | | | 1,275,000 | 支給者数 85人 | | | |
| | 障害福祉サービス費 支給事業費 | 172,997,892 | 130,970,250 | | | 42,027,642 | サービス支給決定者数 161人 | | | |
| | 補装具費支給事業費 | 5,453,390 | | | 2,652,750 | 2,800,640 | サービス利用者数 67人 | | | |

2. いきいき～保健医療・福祉分野～健やかにいきいきと暮らせるまち

2-3.障害者福祉の充実

| 施策 | 平成19年度 事務事業名 | 19年度決算額 | 財源内訳 | | | | 事務事業 平成19年度活動量 | 施策 | | |
|-----------------------------|---------------------|------------|------------|-----|------|------------|-------------------|--|----------------|---|
| | | | 国県支出金 | 地方債 | 特定財源 | 一般財源 | | 施策目標と基準値 | 平成19年度 施策進捗 | 達成状況 |
| | 自立支援医療費 支給事業費 | 27,233,270 | 18,225,000 | | | 9,008,270 | 給付者数 54人 | | | |
| | 障害程度区分 認定等事業費 | 1,141,310 | 553,000 | | | 588,310 | 介護給付利用対象者数 19人 | | | |
| | 社会福祉法人等 減免事業費 | 15,000 | | | | 15,000 | 減免対象者数 0人 | | | |
| | 重度心身障害者医療費 助成事業費 | 34,392,701 | 17,196,350 | | | 17,196,351 | 助成者数 137人 | | | |
| 2-3-1 地域活動支援センター の設置 | 地域活動支援センター 事業費 | 18,719,643 | 6,882,000 | | | 11,837,643 | サービス利用者数 67人 | 障害者地域活動支援センター設置数 平成16年度 0箇所 平成22年度 1箇所 | 1箇所 | 障害者が希望するメニューが受けられ、活動範囲が広がってきました。 |
| 2-3-2 障害者生活支援セン ターの設置 | 障害者地域生活相談 支援事業費 | 9,145,000 | 540,000 | | | 8,605,000 | 相談者数 928人 | サービス提供対象障害種別 平成16年度 2種 平成22年度 8種 | 4種 | フリースペースの開所に伴い、相談件数が増えました。 |
| 2-3-4 学齢障害児の 日中活動支援 | 障害児養育支援事業費 | 6,404,000 | 2,582,000 | | | 3,822,000 | 登録者数 25人 | 就学時デイサービスの実施 平成16年度 1箇所 平成22年度 2箇所 | 1箇所 | 日中活動支援のニーズに対して、児童館における養育支援活用が安定的に行われています。 |

2-4.子育て支援策の充実

| | | | | | | | | | | |
|--|-----------------------|-------------|-------------|--|--|------------|---------------------------------|--|--|--|
| | 児童福祉施設安全点検 システム構築費 | 987,000 | | | | 987,000 | 設置箇所 8箇所 (保育園・児童館・学童保 育所) | | | |
| | 児童手当給付費 | 230,560,000 | 172,233,332 | | | 58,326,668 | 受給対象者数 2,272人 | | | |
| | 遺児手当給付費 | 819,000 | | | | 819,000 | 受給対象者数 23人 | | | |
| | こども医療費助成費 | 63,346,249 | 30,967,000 | | | 32,379,249 | 助成者数 2,008人 | | | |
| | 妊産婦医療費助成費 | 7,471,738 | 3,733,000 | | | 3,738,738 | 助成者数 600人 | | | |
| | ひとり親家庭医療費助成費 | 4,397,519 | 2,198,435 | | | 2,199,084 | 助成世帯数 196世帯 | | | |
| | 不妊治療費助成費 | 1,730,278 | | | | 1,730,278 | 申請者数 10人 | | | |

2. いきいき～保健医療・福祉分野～健やかにいきいきと暮らせるまち

2-4.子育て支援策の充実

| 施策 | 平成19年度 事務事業名 | 19年度決算額 | 財源内訳 | | | | 事務事業 平成19年度活動量 | 施策 | | |
|----------------------------------|--------------------|------------|------------|-----|------|------------|---------------------------------------|--|-------------------|--|
| | | | 国県支出金 | 地方債 | 特定財源 | 一般財源 | | 施策目標と基準値 | 平成19年度 施策進捗 | 達成状況 |
| 2-4-1 保育園の適正な運営と 保育サービスの充実 | 特別保育事業費 | 44,157,600 | 18,764,000 | | | 25,393,600 | 保育園入園児童 7,846人 | <ul style="list-style-type: none"> 長時間延長保育実施 平成16年度 0箇所 平成20年度 2箇所 休日保育実施 平成16年度 1箇所 平成22年度 2箇所 保育園運営委託 平成16年度 0箇所 平成22年度 2箇所 | 1箇所 1箇所 1箇所 | 通常保育のほか、サービス利用者のニーズに合わせて提供してきました。平成19年度は病児・病後児保育(自園型)を新たに1園で始めました。 全般的に需要に対して、供給は足りているものと判断しています。 |
| 2-4-3 食育教育の推進 | 保育事業費 (ひまわり保育園) | 16,069 | | | | 16,069 | 事業実施回数 20回 | <ul style="list-style-type: none"> 保育園農園体験年間開催回数 平成16年度 0回 平成22年度 36回 | 38回 | 自分の力で栽培収穫したものへの関心が高く、子どもたちが食の大切さを自然に身に付けてきています。 今後は子どもから日々の出来事を聞くことで、保護者への波及効果が見込めるものと考えています。 |
| | 保育事業費 (にじいろ保育園) | 168,530 | | | | 168,530 | 事業実施回数 12回 | <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児、児童の食育指導年間開催回数 平成16年度 11回 平成22年度 28回 | 17回 | |
| | 保育事業費 (のびのび保育園) | 88,200 | | | | 88,200 | 事業実施回数 19回 | | | |
| 2-4-4 育児情報の提供 | 育児情報提供事業費 | 10,395 | | | | 10,395 | 情報提供回数 140回 (ホームページ、情報誌、 町広報紙等) | HP上の子育てQ&A情報数 平成16年度 115回 平成22年度 185回 | 140回 | 紙、ウェブサイト等、あらゆる媒体を使い情報を発信してきました。特に紙媒体の「子育て応援隊」とメール配信の「子ネット」は好評を得ています。 |
| 2-4-5 学校と地域が 連携した子育て | 放課後子ども教室 推進事業費 | 2,681,700 | | | | 2,681,700 | 事業実施箇所数 1箇所 | 学校支援ボランティア数 平成16年度 0人 平成22年度 18人/6校 | 26人/3校 | 次世代育成支援行動計画実行委員会を中心に、「学校支援ボランティア」への協力という形で施策展開しています。 |
| 2-4-6 仕事と子育ての 両立の支援 | 両立支援事業費 | 37,249 | | | | 37,249 | モデル企業数 0社 | <ul style="list-style-type: none"> 子育てにやさしいモデル企業数 平成16年度 0社 平成22年度 5社 | 0社 | 企業への啓発として、町内企業70社を対象に、意識調査を行いました。 今後は県との役割分担を考えながら、町としてすべきことを整理し、行動計画を抜本的に見直すこととしています。 |
| 2-4-7 児童虐待防止 ネットワークの充実 | 要保護児童 支援事業費 | 2,717,060 | | | | 2,717,060 | 相談・訪問日数 205日 | <ul style="list-style-type: none"> 児童虐待件数 平成16年度 21件 平成22年度 10件 | 25件 | 要保護児童対策地域協議会を設置し、協議会を中心に関係機関との連携を図り、虐待ケースの対応や支援体制を強化しました。 |
| | | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 相談件数 平成16年度 237件 平成22年度 280件 | 447件 | |

3. やすらぎ～自然・生活環境分野～豊かな自然を守る安全なまち

3-1.自然環境の保全と創造

| 施策 | 平成19年度 事務事業名 | 19年度決算額 | 財源内訳 | | | | 事務事業 平成19年度活動量 | 施策 | | |
|-----------------------------|----------------------|------------|-------|-----|-----------|------------|-------------------|--|----------------|---|
| | | | 国県支出金 | 地方債 | 特定財源 | 一般財源 | | 施策目標と基準値 | 平成19年度 施策進捗 | 達成状況 |
| | 水道事業会計出資金 | 69,804,568 | | | | 69,804,568 | 上水道普及率 97.90% | | | |
| 3-1-1 環境基本計画の 策定と運用 | 自然環境保全事業費 | 72,639 | | | | 72,639 | 支援事業数 3事業 | ・環境基本計画の策定 平成16年度 未策定 平成18年度 策定 ・自然環境基礎調査(指標生物)参加人数 平成16年度 0人 平成22年度 300人 | 策定 | 自然観察会や野鳥観察、天体観察を実施し、好評を得ました。 |
| | 身近な自然環境 調査事業費 | 75,669 | | | | 75,669 | 調査活動参加者数 107人 | | | |
| | 水質調査事務費 | 968,100 | | | | 968,100 | 水質調査検体数 50体 | | | |
| 3-1-2 環境保全に取り組む 人材の育成 | エコ・ハウスたかねざわ 運営管理費 | 10,000,000 | | | 5,243,000 | 4,757,000 | 施設開館日数 306日 | 環境学習・体験指導員の登録者 平成16年度 0人 平成22年度 50人 | 10人 | 環境学習・体験指導員のボランティアが年々増加傾向にあります。また、各講座の参加者や施設の利用者も増加しました。 |

3-2.リサイクルの推進

| | | | | | | | | | | |
|--|------------------|------------|--|--|------------|------------|---------------------------------|--|--|--|
| | 衛生対策事業費 | 197,800 | | | | 197,800 | 生ごみ処理機助成金交付 件数 22件 | | | |
| | 可燃ごみ収集事業費 | 45,978,710 | | | 32,710,000 | 13,268,710 | 家庭からの可燃ごみの収 集量 3,602t | | | |
| | 生ごみ収集事業費 | 25,803,721 | | | 4,069,500 | 21,734,221 | 回収した生ごみの量 640t | | | |
| | 粗大ごみ収集事業費 | 756,000 | | | 311,000 | 445,000 | 委託により処理施設に搬 入された粗大ごみの量 9t | | | |
| | 資源ごみ回収事業費 | 16,327,500 | | | 142,100 | 16,185,400 | 収集した資源ごみの量 555t | | | |
| | 動物死体収集事業費 | 764,400 | | | | 764,400 | 動物死体収集体数 112体 | | | |
| | 古紙等回収事業費 | 13,998,600 | | | 7,314,663 | 6,683,937 | 古紙等回収量 868t | | | |
| | ペットボトル回収事業費 | 3,024,000 | | | | 3,024,000 | ペットボトル回収量 67t | | | |
| | 不法投棄物収集事業費 | 1,122,129 | | | | 1,122,129 | 回収した不法投棄の重量 8t | | | |
| | 発泡スチロール 回収事業費 | 1,172,031 | | | 34,983 | 1,137,048 | 発泡スチロール回収量 2t | | | |

3. やすらぎ～自然・生活環境分野～豊かな自然を守る安全なまち

3-2.リサイクルの推進

| 施策 | 平成19年度 事務事業名 | 19年度決算額 | 財源内訳 | | | | 事務事業 平成19年度活動量 | 施策 | | |
|------------------------------|-----------------|---------|-------|-----|--------|---------|-------------------------------|---|----------------|---|
| | | | 国県支出金 | 地方債 | 特定財源 | 一般財源 | | 施策目標と基準値 | 平成19年度 施策進捗 | 達成状況 |
| 3-2-1 リサイクル総合計画の 策定と運用 | リサイクル推進事業費 | 614,625 | | | 10,000 | 604,625 | リサイクル総合計画の配布 部数 11,000部 | 可燃ごみのリサイクル率 平成16年度 33% 平成22年度 40% | 31.40% | 可燃ごみの収集量は微増であり、資源ごみも全体的に減少傾向であったために可燃ごみのリサイクル率は若干低下しました。これは、町民の発生抑制に係る意識の現れであると検証しています。 |
| | 剪定枝等資源化事業費 | 212,192 | | | 26,500 | 185,692 | 剪定枝回収量 2,650kg | | | |
| | 資源ごみリサイクル事業費 | 426,770 | | | | 426,770 | 団体が回収した資源ごみの総重量 20,696kg | | | |
| | 廃食用油BDF事業費 | 695,293 | | | | 695,293 | バイオディーゼル燃料製造量 2,350リットル | | | |

3-3.防災機能の向上

| | | | | | | | | | | |
|------------------|---------------|------------|--|--|--|------------|-------------------------------|--|-----|--|
| 3-3-1 防災体制の強化 | 消防施設整備事業費 | 13,583,610 | | | | 13,583,610 | 新設消火栓数 18基 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災拠点施設整備箇所 平成16年度 0箇所 平成19年度 6箇所 ・火災発生件数 平成16年度 6件 平成18年度以降 0件 | 6箇所 | 災害発生時の拠点施設を整備し、食料並びに物資などを備蓄しました。今後は地域防災計画を基礎とし、消防団組織の強化支援や地域連携の意識啓発、組織化を推進します。 |
| | 防災拠点施設整備費 | 1,308,300 | | | | 1,308,300 | 整備した拠点施設数 6箇所 | | | |
| | 災害備蓄品整備費 | 13,260,030 | | | | 13,260,030 | 備蓄品種 8種 | | | |
| | 防災情報ネットワーク整備費 | 994,395 | | | | 994,395 | バッテリーを交換した防災行政無線(移動系)数 10台 | | | |

3-4.防犯・交通安全対策の充実

| | | | | | | | | | | |
|-----------------------|-------------------|-----------|--|--|--|-----------|------------------------|--|----------------|--|
| 3-4-1 防犯灯の整備 | 防犯灯整備事業費 | 2,053,160 | | | | 2,053,160 | 新規防犯灯設置数 100基 | 防犯灯設置総数 平成16年度 1,405基 平成22年度 1,695基 | 1,885基 | 平成18年度からの3年計画により、中学校区の通学路に整備しています。また、この計画とは別に、地域や学校からの要請に対応して整備しています。この結果、地域の防犯と交通安全に効果が出ています。 |
| 3-4-2 交通安全施設の整備 | 仁井田コミュニティゾーン整備事業費 | 4,746,000 | | | | 4,746,000 | カラー舗装整備箇所数 2箇所 | <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故(人身)発生件数 平成16年度 252件 平成22年度 220件 ・人口10万人当たりの交通事故発生件数 平成16年度 817.6件 平成22年度 677件 | 199件 639.9件 | 交通事故発生件数が減少しており、整備効果があらわれているものと判断します。 |
| 3-4-3 自主防犯組織の育成と強化 | 自主防犯組織育成費 | 1,180,000 | | | | 1,180,000 | 防犯活動実施団体数 21団体 | <ul style="list-style-type: none"> ・自主防犯活動(ホーム)年間実施回数 平成16年度 565回 平成22年度 4,270回 ・年間刑法犯認知件数 平成16年度 466件 平成22年度 420件 | 2,754回 354件 | 13支部とスクールガード6団体、青バト隊2団体が精力的に活動し、2700回を超える活動がありました。その結果、住居侵入窃盗犯の認知件数は1千世帯あたり、県内最下位の数値となっています。 |
| 3-4-4 交通安全組織の育成と強化 | 交通安全組織育成費 | 572,450 | | | | 572,450 | 団体による交通安全活動実施回数 46回 | <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全関係組織数 平成16年度 61支部 平成22年度 68支部 ・交通安全活動年間実施回数 平成16年度 35回 平成22年度 55回 | 62支部 46回 | 年間46回に及ぶ交通安全活動により、交通事故発生が減少しています。 |

4. げんき～産業経済分野～活力ある地域産業を育てるまち

4-1.攻めの農政への転換

| 施策 | 平成19年度 事務事業名 | 19年度決算額 | 財源内訳 | | | | 事務事業 平成19年度活動量 | 施策 | | |
|------------------------------------|---------------------|------------|------------|-----|------|------------|--|---|-------------------|--|
| | | | 国県支出金 | 地方債 | 特定財源 | 一般財源 | | 施策目標と基準値 | 平成19年度 施策進捗 | 達成状況 |
| | 農業振興対策費 | 593,036 | | | | 593,036 | 交付回数(負担金・交付金) 2回 | | | |
| 4-1-1 循環型農業への取組み推進 | 土づくりセンター 維持管理費 | 24,648,750 | | | | 24,648,750 | 牛糞尿(3,300t)生ごみ (700t)粗穀(800t)の処理 量 4,409t | ・有機・減減米生産面積 平成16年度 8ha 平成22年度 50ha | 5.6ha | 指標は、経費と効率の問題で減少となりました。 |
| 4-1-2 将来の農業を支える、 やる気のある人材の育成 | 認定農業者等育成 確保対策費 | 79,081 | | | | 79,081 | 町認定委員会開催回数 3回 | ・認定農業者数 平成17年度 216人 平成22年度 260人 ・集落営農数及び法人経営体数 平成17年度 0組織 平成22年度 3組織 | 240人 2組織 | 現在町内には遊休農地も見受けられず、担い 手対策は他市町に比べ順調と判断します。 引き続き、担い手への集積を推進します。 |
| | 農業生産法人等 育成事業費 | 171,000 | | | | 171,000 | 集落営農組織化数 2件 | | | |
| | 担い手への農地利用 集積事業費 | 3,721,909 | | | | 3,721,909 | 担い手への農地利用集積 面積 30.2ha | | | |
| 4-1-3 経営安定を目指した生 産体制の改善 | 自給飼料生産振興事業 費 | 73,177,000 | 73,177,000 | | | | 飼料作付増加面積 13.2ha | ・転作麦・大豆生産面積 平成16年度 麦640ha 大豆500ha 平成22年度 麦1,100ha 大豆750ha | 麦620ha 大豆472ha | 年度目標には達しませんでした、前年を越え る実績となりました。 継続的に事業を展開すべきと判断しています。 |
| | 園芸振興推進事業費 | 4,975,000 | 4,343,000 | | | 632,000 | 新規作物導入面積 0.62ha | ・10a当たりの麦・大豆の収量 平成16年度 麦300kg 大豆168kg 平成22年度 麦350kg 大豆240kg | 麦310kg 大豆144kg | |
| 4-1-4 農村地域の再生と活力 ある農村の創造 | サテライトシステム構築費 | 278,250 | | | | 278,250 | 農産物直売農家戸数 32戸 | ・元気あっぷむら長期修繕計画に基づく 工事計画達成率 実績なし 平成22年度まで毎年度100%達成 ・都市部からの体験農園年間来場者数 高根沢秋の農家めぐりツアー1回実施 平成22年度まで毎年90人 | 100% 52人 | 概ね計画どおり実行されました。 今後は農産物直売農家の展開など、具体的な 事業を立案していきます。 |
| | 地域活性化人材・組織 育成事業費 | 7,690,561 | 249,000 | | | 7,441,561 | 協定締結対象面積 76,320a | | | |
| | 土地改良施設改修 整備事業費 | 7,255,000 | 3,885,000 | | | 3,370,000 | 堰の欠損等 0件 | | | |
| | 元気あっぷむら整備事業 費 | 41,048,070 | | | | 41,048,070 | 長期修繕計画に基づく工 事の達成率 100% | | | |
| | 森林整備事業費 | 211,234 | 11,962 | | | 199,272 | 整備事業参加者 120人 | | | |
| | 松くい虫防除事業費 | 231,000 | | | | 231,000 | 防除事業実施回数 1回 | | | |

4-2.新たな産業の創出

| | | | | | | | | | | |
|------------------------------|------------------|-------------|--|--|--|-------------|----------------------------|---|-----------------|---|
| 4-2-2 町内企業の育成と支援 | 町中小企業融資振興 対策費 | 175,000,000 | | | | 175,000,000 | 融資制度利用社数 33社 | ・町融資制度町内利用事業所数 平成16年度 44件 平成22年度 50件 ・セーフティネット認定件数 平成16年度 131件 平成22年度 144件 | 33件 127件 | 設備資金の利用が昨年より減っているなど、新 規投資に積極的になれない現状があります。 |
| 4-2-3 「情報の森とちぎ」への 企業誘致 | 企業立地推進対策費 | 19,000 | | | | 19,000 | 未分譲区画(11区画)への 誘致数 0社 | 新規進出企業数 | 0社 | 建築協定の見直し時期でしたが、現状のまま更 新されました。 |

4. げんき～産業経済分野～活力ある地域産業を育てるまち

4-3.魅力と元気のある商業振興

| 施策 | 平成19年度 事務事業名 | 19年度決算額 | 財源内訳 | | | | 事務事業 平成19年度活動量 | 施策 | | |
|----------------------|-----------------|------------|-------|-----|------|------------|--------------------------------|---|----------------|---|
| | | | 国県支出金 | 地方債 | 特定財源 | 一般財源 | | 施策目標と基準値 | 平成19年度 施策進捗 | 達成状況 |
| 4-3-2 地域資源を活かした観光 | 観光振興費 | 10,300,000 | | | | 10,300,000 | たかねビア夏祭り盆踊り花火大会来場者数 45,000人 | 年間観光客入込数 平成16年度 1,301,729人 平成22年度 1,431,901人 | 1,371,070人 | これまでの成果と課題を検証しながら、障害者に配慮した会場づくり等を行いました。 |
| 4-3-3 商工会等の活動支援 | 商工会活動支援事業費 | 11,300,000 | | | | 11,300,000 | 経営指導回数 984回 | ・商工会経営指導回数 平成16年度 552回 平成22年度 1,000回 ・空き店舗率の減少対策 平成16年度 15.5% 平成22年度 14% | 984回 | 指導を強化した効果がでてきたものと判断します。 |

5. かがやき～教育・文化分野～豊かな心を育むまち

5-1.学校教育・教育環境の充実

| | | | | | | | | | | |
|--|---------------------|------------|-----------|--|--|------------|----------------------|--|--|--|
| | 不登校児童生徒 対策事業費 | 12,305,446 | 100,000 | | | 12,205,446 | ひよこの家に通級できる人数 15人 | | | |
| | スクールバス運行費 | 11,550,000 | | | | 11,550,000 | スクールバス運行日数 203日 | | | |
| | スクールカウンセラー 活用事業費 | 2,716,604 | | | | 2,716,604 | 相談件数 700件 | | | |
| | 小中学校パソコン 整備事業費 | 28,711,200 | | | | 28,711,200 | パソコン貸与率 100% | | | |
| | 小学校児童就学援助費 | 4,083,242 | 19,000 | | | 4,064,242 | 就学援助認定児童数 74人 | | | |
| | 小学校特別支援教育 就学援助費 | 1,730,298 | 660,000 | | | 1,070,298 | 就学援助実施数 9人 | | | |
| | 中学校生徒就学援助費 | 4,766,750 | 75,000 | | | 4,691,750 | 就学援助認定生徒数 51人 | | | |
| | 中学校特別支援教育 就学援助費 | 455,616 | 61,000 | | | 394,616 | 就学援助実施数 9人 | | | |
| | 幼稚園就学援助費 | 20,688,900 | 5,631,000 | | | 15,057,900 | 補助対象幼児数 452人 | | | |
| | 小学校教育振興事業費 | 589,950 | | | | 589,950 | 路線バス利用児童数 9人 | | | |
| | 社会科副読本作成 事業費 | 2,835,000 | | | | 2,835,000 | 3・4年児童数 582人 | | | |

5. かがやき～教育・文化分野～豊かな心を育むまち

5-1.学校教育・教育環境の充実

| 施策 | 平成19年度 事務事業名 | 19年度決算額 | 財源内訳 | | | | 事務事業 平成19年度活動量 | 施策 | | |
|-------------------------|----------------------------------|------------|------------|-----------|------|------------|---------------------------------|---|----------------|---|
| | | | 国県支出金 | 地方債 | 特定財源 | 一般財源 | | 施策目標と基準値 | 平成19年度 施策進捗 | 達成状況 |
| | 上高根沢小学校 教育振興費 | 1,397,990 | | | | 1,397,990 | 児童数 83人 | | | |
| | 東小学校 教育振興費 | 1,605,921 | | | | 1,605,921 | 児童数 178人 | | | |
| | 北小学校 教育振興費 | 1,692,500 | | | | 1,692,500 | 児童数 183人 | | | |
| | 中央小学校 教育振興費 | 1,928,358 | | | | 1,928,358 | 児童数 218人 | | | |
| | 阿久津小学校 教育振興費 | 3,147,917 | | | | 3,147,917 | 児童数 523人 | | | |
| | 西小学校 教育振興費 | 3,421,937 | | | | 3,421,937 | 児童数 573人 | | | |
| | 北高根沢中学校 教育振興費 | 5,608,663 | | | | 5,608,663 | 生徒数 291人 | | | |
| | 阿久津中学校 教育振興費 | 10,545,378 | | | | 10,545,378 | 生徒数 690人 | | | |
| 5-1-1 校舎等の計画的な 整備 | 北小学校特別教室棟 耐震改修事業費 | 30,975,000 | 8,131,000 | 3,400,000 | | 19,444,000 | IS値 0.70 | ・改築 要改築 1箇所 平成16年度 0箇所 平成18年度 1箇所 | 1箇所終了 | 小中学校施設整備計画に基づき、耐震性基準を満たさない構造体を有する施設及び経年劣化した校舎やプール等の補強工事・改修工事を行いました。 |
| | 北高根沢中学校 管理教室棟 耐震改修事業費 | 30,943,500 | 21,553,000 | 5,600,000 | | 3,790,500 | IS値 1階0.77 2階0.71 3階 0.70 | ・耐震 要改修 3箇所 平成16年度 0箇所 平成19年度 3箇所 | 3箇所終了 | |
| | 上高根沢小学校プール 塗装・プールサイド 改修事業費 | 8,741,250 | | | | 8,741,250 | 改修箇所数 1箇所 | ・維持補修 対象 5箇所 平成16年度 0箇所 平成22年度まで毎年 1箇所 | 2箇所終了 | |
| 5-1-2 基礎学力の向上 | 学習内容定着度調査 実施事業費 | 2,076,480 | | | | 2,076,480 | 調査実施回数 1回 | 学習内容定着度調査平均点 平成18年度基準平均点 70.8点 平成22年度 72.8点 | 71.95点 | 調査結果を踏まえ、課題を分析・把握し、学習指導方法を研究したほか、学力向上のための支援を行いました。 また、少人数への対応や配慮を要する児童生徒への対応のため、教員を配置しました。 |
| | チームティーチング事業 費 | 69,563,000 | | | | 69,563,000 | 配置した延べ人数 43人 | | | |

5. かがやき～教育・文化分野～豊かな心を育むまち

5-1. 学校教育・教育環境の充実

| 施策 | 平成19年度 事務事業名 | 19年度決算額 | 財源内訳 | | | | 事務事業 平成19年度活動量 | 施策 | | |
|----------------------------|---------------------|-------------|---------|-----|-------------|------------|--------------------------------|---|----------------|---|
| | | | 国県支出金 | 地方債 | 特定財源 | 一般財源 | | 施策目標と基準値 | 平成19年度 施策進捗 | 達成状況 |
| 5-1-3 体験(自然・社会・生活)学習の充実 | マイチャレンジ推進事業費 | 130,750 | | | | 130,750 | 町内中学2年生数 344人 | 年間体験学習時間数 平成16年度 569時間 平成22年度 612時間 | 612時間 | 中学生を対象に、職場体験や総合的な学習、自然教室、体験農場を通し、さまざまな体験を実施しました。 |
| | 総合的な学習実施事業費(体験) | 102,000 | | | | 102,000 | 総合的な学習の時間に占める体験学習の時間数 666時間 | | | |
| | 自然教室事業費 | 1,020,600 | 255,000 | | | 765,600 | 参加児童数 312人 | | | |
| | 体験農場事業費 | 764,224 | | | | 764,224 | 体験農場提供校数 7校 | | | |
| 5-1-4 食に関する指導の充実 | 生産者の素顔に 迫ろう事業費 | 61,629 | | | | 61,629 | 交流会実施回数 15回 | 年間食に関する学習時間数 平成16年度 151時間 平成22年度 306時間 | 312時間 | 総合的な学習の中で、学校栄養士等が指導を行いました。また、学校給食時に生産者を各学校に招き、交流を図りました。学校給食材料購入は、新たな品目を導入できましたが、ほぼ前年度と同率となりました。 |
| | 学校給食材料購入費 | 147,765,780 | | | 146,117,580 | 1,648,200 | 学校給食における町内産農産物等の使用比率 35% | | | |
| 5-1-5 小学校における英会話学習の充実 | AET事業費 | 24,150,000 | | | | 24,150,000 | 小中学校に配置する外国語指導助手の人数 5人 | 小学生における年間英会話学習時間数 平成16年度 396時間 平成22年度 516時間 | 784時間 | 外国人からの直接指導や会話など、英語に慣れ親しむ活動を実施したほか、異文化体験を実施しました。 |
| | 総合的な学習実施事業費(英会話) | 245,951 | | | | 245,951 | 総合的な学習の時間に占める英語学習の時間数 784時間 | | | |
| | 小中学生海外滞在 チャレンジ補助 | 1,600,000 | | | 1,600,000 | | 補助対象人数 16人 | | | |

5-2. 青少年の健全育成

| | | | | | | | | | | |
|-------------------------|----------------------|-----------|--|--|-----------|-----------|-------------------------------|--|--------|--|
| 5-2-1 自然・体験活動への支援 | 青少年対象自然 体験活動支援事業費 | 1,385,158 | | | 1,000,000 | 385,158 | 各種体験活動開催事業数 10件 | 自然・体験活動参加者数 平成16年度 2,362人 平成22年度 4,000人 | 2,837人 | 計画どおり施策展開できたものと判断します。今後は各種事務事業を一体的に推進することで、一層の効果をあげていきます。 |
| | 青少年教育推進事業費 | 236,448 | | | | 236,448 | 講座・教室開催回数 13回 | | | |
| 5-2-2 地域リーダーの育成 | ジュニアリーダー 育成事業費 | 30,898 | | | | 30,898 | 中高生のジュニアリーダー スクラブ数 1クラブ | 巡回講座年間開催件数 平成16年度 0回 平成22年度 24回 | 3回 | 成人式は、自らが実行委員会を組織し実施することにより、人材育成に大きくつながっていると判断します。 |
| | 成人式典費 | 718,308 | | | | 718,308 | 実行委員会開催回数 12回 | | | |
| 5-2-3 地域・団体等の教育力への支援 | 小山文化スポーツ 振興事業費 | 2,625,500 | | | | 2,625,500 | 申請者数 14団体 | 基金を活用した青少年健全育成活動参加者数 平成16年度 7,396人 平成22年度 9,000人 | 4,506人 | 計画どおり施策展開できたものと判断します。今後は家庭教育推進にあたり、保護者に家庭教育の大切さを認識してもらえぬ取組みを推進します。 |
| | 家庭教育推進費 | 500,750 | | | | 500,750 | 講座延べ参加者数 1,632人 | | | |
| 5-2-4 若者の居場所づくり | 検討委員会設置事業費 | 12,552 | | | | 12,552 | 検討回数 8回 | 居場所に集う若者の延べ人数 平成16年度 0人 平成22年度 400人 居場所の設置数 平成16年度 0箇所 平成20年度 1箇所 | 0箇所 | 今後検討委員会と協力しながら、具体的な手法を考えていきます。 |

5. かがやき～教育・文化分野～豊かな心を育むまち

5-3.生涯学習の推進

| 施策 | 平成19年度 事務事業名 | 19年度決算額 | 財源内訳 | | | | 事務事業 平成19年度活動量 | 施策 | | |
|--------------------------------------|------------------|------------|-------|-----|------|------------|---------------------------------|--|-----------------------------|---|
| | | | 国県支出金 | 地方債 | 特定財源 | 一般財源 | | 施策目標と基準値 | 平成19年度 施策進捗 | 達成状況 |
| 5-3-1 地域協働団体等の育成と支援 | 地域協働団体等 支援事業費 | 50,708 | | | | 50,708 | メッセの開催回数 1回 | 新規の育成数・支援団体数 平成16年度 7団体 平成22年度 50団体 | 22団体 | 団体数は増加しており、順調に施策展開されていると判断します。 今後は団体をコーディネートできる組織について検討を開始します。 |
| 5-3-2 体験・交流活動の充実 | 成人教育事業費 | 729,859 | | | | 729,859 | 講座開催回数 64回 | <ul style="list-style-type: none"> 自然体験年間参加者数 平成16年度 1,000人 平成22年度 3,000人 体験活動年間参加者数 平成16年度 44,849人 平成22年度 60,000人 交流活動年間参加者数 平成16年度 1,740人 平成22年度 3,000人 | 1,870人 50,639人 2,994人 | 事務事業を整理し、より効果的な施策展開が図れたと判断します。 今後もより一層、体験交流活動の内容を拡大し、充実したものとしていきます。 |
| 5-3-4 地域コミュニティ(小学校区単位)による地域教育力の活用 | 花いっぱい運動推進費 | 3,183,976 | | | | 3,183,976 | 花苗購入数 36,000本 | <ul style="list-style-type: none"> 地域交流センター設置数 平成16年度 未設置 平成19年度 1箇所 | 0箇所 | 今後住民協働推進計画の議論の状況をみながら、施策展開のイメージを詰めていきます。 |
| 5-3-5 読書活動推進とボランティア育成 | 図書館整備費 | 2,287,855 | | | | 2,287,855 | インターネットによる情報 利用可能日数 360日 | <ul style="list-style-type: none"> 図書館年間貸出点数 平成16年度 514,828点 平成22年度 530,300点 図書館おはなしボランティア数 平成16年度 9人 平成22年度 30人 | 509,067点 21人 | 迅速に利用者のニーズを把握するとともに、資料をより多く収集する為に分担収集に努めました。結果、図書館サービスの向上と読書活動推進を図れたものと判断します。 また、ボランティア育成のための講座開催、ボランティアの活動場所の拡大も積極的に推進しました。 |
| | 図書館資料費(中央館) | 17,998,856 | | | | 17,998,856 | 年間貸出点数 338,119点 | | | |
| | 講座開催費(中央館) | 111,995 | | | | 111,995 | 講座開催回数 17回 | | | |
| | ブックスタート推進事業費 | 204,750 | | | | 204,750 | ブックスタート、ばぶばぶ お話し会開催回数 24回 | | | |
| | 図書館資料費(仁井田分館) | 6,996,084 | | | | 6,996,084 | 年間貸出点数 104,230点 | | | |
| | 講座開催費(仁井田分館) | 248,566 | | | | 248,566 | 講座開催回数 12回 | | | |
| | 図書館資料費(上高根沢分館) | 4,999,934 | | | | 4,999,934 | 入館者数 21,226人 | | | |

5-4.文化芸術の振興

| | | | | | | | | | | |
|---------------------------|----------------------------|-----------|--|--|---------|-----------|-------------------------|---|--------------|--|
| 5-4-1 住民参画による文化イベントの運営 | 住民参画による 文化イベント事業費 | 155,698 | | | | 155,698 | イベント開催回数 4回 | 町民ホール自主事業参加人数 平成18年度 3,689人 平成22年度 2,800人 | 2,364人 | 自主事業運営委員会による自主的な運営で文化芸術の普及活動が行われ、町民の意識も変化してきたものと判断します。 |
| | 町民ホール自主事業運営委員会による文化イベント事業費 | 4,050,024 | | | 921,200 | 3,128,824 | イベント開催回数 5回 | | | |
| | 文化祭開催事業交付金 | 1,000,000 | | | | 1,000,000 | 文化祭開催回数 1回 | | | |
| 5-4-2 体験型・伝統芸能子ども教室の開催 | 伝統芸能子ども教室開催事業費 | 655,259 | | | | 655,259 | 開催回数 31回 (雅楽・落語・神楽等) | <ul style="list-style-type: none"> 体験型教室年間参加者数 実績なし 平成22年度 100人 伝統芸能教室参加者数 実績なし 平成22年度 100人 | 257人 503人 | 目標値までは達成しませんでした。前年度以上の参加が得られたことから、伝統芸能にふれる機会は十分に提供できたものと判断します。 |

5. かがやき～教育・文化分野～豊かな心を育むまち

5-5.生涯スポーツの推進

| 施策 | 平成19年度 事務事業名 | 19年度決算額 | 財源内訳 | | | | 事務事業 平成19年度活動量 | 施策 | | |
|-------------------------------|---------------------|-----------|-------|-----|------|-----------|--------------------------------------|---|----------------|---|
| | | | 国県支出金 | 地方債 | 特定財源 | 一般財源 | | 施策目標と基準値 | 平成19年度 施策進捗 | 達成状況 |
| | トレーニングセンター 整備費 | 4,410,000 | | | | 4,410,000 | 年間利用者数 28,577人 | | | |
| 5-5-1 スポーツ振興基本計画の 策定と運用 | スポーツ振興基本計画 推進事業費 | 20,000 | | | | 20,000 | 成人週1回実施率 ※未測定 | ・成人週1回スポーツ実施率 平成17年度 31.6% 平成22年度 40% | ※未測定 | スポーツ振興基本計画にそった事業展開がさ れています。 |
| 5-5-4 指導者の育成 | 研修会開催事業費 | 80,000 | | | | 80,000 | 研修会開催回数 2回 | 地域スポーツ指導者数 平成16年度 15人 平成22年度 55人 | 47人 | 指導者研修会は、総合型地域スポーツクラブ (元気UPスポーツクラブ)とタイアップし実施しま した。 |
| 5-5-5 スポーツイベントの充実 | 町民体育祭開催事業費 | 1,282,000 | | | | 1,282,000 | 大会開催回数 4回 | | | 計画どおり施策展開できたものと判断します。 |
| | 各種教室開催事業費 | 294,247 | | | | 294,247 | 教室開催回数 12回 (さわやかスポーツ教室、 健康教室等) | スポーツイベント参加者数 平成16年度 8,341人 平成22年度 10,500人 | 9,431人 | |
| | 元気あっぷマラソン大会 交付金 | 2,080,000 | | | | 2,080,000 | 大会開催回数 1回 | | | |

6. やるき～地域コミュニティ分野～まち普請元年ー自助・共助・公助

6-1.住民と行政の協働の推進

| | | | | | | | | | | |
|-----------------------------|--------------|-----------|--|--|--------|-----------|---|---|-----|--|
| | 町制50周年記念式典費 | 1,096,934 | | | | 1,096,934 | 町制50周年祭来場者数 1,800人 (4/12・13 延べ人数) | | | |
| 6-1-1 まちづくり基本条例の 制定 | まちづくり基本条例推進費 | 622,793 | | | | 622,793 | 広報を通じた条例策定状 況のお知らせ回数 3回 | まちづくり基本条例の制定 平成16年度 未制定 平成19年度 制定 | 未制定 | 平成19年12月20日に条例原案の答申を受け ました。 |
| 6-1-2 住民協働推進計画の 策定と運用 | たかねピア推進事業費 | 39,000 | | | 39,000 | | 事業認定申請件数 1件 | 住民協働推進計画の策定 平成16年度 未策定 平成20年度 策定 | 未策定 | 住民協働推進計画は、まちづくり基本条例制定 後に策定作業を開始します。 |

6-2.男女共同参画の促進

| | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--------------------|--------|--|--|--|--------|----------------------------|--|------|--|
| 6-2-1 男女共同参画計画の 推進 | 啓発活動事業費 | 59,257 | | | | 59,257 | 広報紙発行とリーフレット 配布回数 7回 | 男女共同参画リーダー育成講座参加者 数 平成16年度 100人 平成22年度 900人 | 134人 | これまでの男女の役割意識や固定概念を見直 すなど、継続的に意識改革を進めていく必要が あると判断しています。 |
| | 地域リーダー育成等 推進事業費 | 64,104 | | | | 64,104 | 講座開催回数 5回 | | | |

6-3.行政情報の共有

| | | | | | | | | | | | |
|------------------|------------|------------|--|--|---------|------------|-------------------------------------|---|---------|---|-------|
| 6-3-1 行政情報の発信 | 町政だより発刊費 | 2,208,816 | | | | 2,208,816 | 発行部数 246,000部 | ・町ホームページの年間アクセス件数 平成16年度 72,606件 平成22年度 92,000件 ・広報たかねざわの満足度 平成16年度 54% 平成22年度 65% | 93,564件 | 広報たかねざわの特集記事によって、町の施策 を多くの方に知っていただく機会が増えました。 また、ホームページの閲覧件数も目標以上に推 移しています。 職員の情報機器も計画通り更新され、より一層 の情報の共有と情報発信につながるものと思わ れます。 | |
| | 広報たかねざわ発刊費 | 7,064,751 | | | 196,480 | 6,868,271 | 発行部数 140,400部 | | | | |
| | 元気ネット運営費 | 1,276,800 | | | | 1,276,800 | ウェブアクセシビリティ対 応件数 0件 (見やすさ・音声) | | | | 95.1% |
| | 元気ネット整備費 | 19,965,393 | | | | 19,965,393 | 元気ネットの再構築案件数 1件 | | | | |

その他

| 施 策 | 平成19年度 事務事業名 | 19年度決算額 | 財 源 内 訳 | | | | 事 務 事 業 平成19年度活動量 | 施 策 | | |
|-----|------------------|-----------|---------|-----|------|-----------|----------------------|----------|----------------|------|
| | | | 国県支出金 | 地方債 | 特定財源 | 一般財源 | | 施策目標と基準値 | 平成19年度 施策進捗 | 達成状況 |
| | 福祉灯油購入費 助成事業費 | 2,285,100 | | | | 2,285,100 | 灯油券発行枚数 4,004枚 | | | |
| | 監査事務研修費 | 35,850 | | | | 35,850 | 実施回数 2回 | | | |
| | 議員研修事業費 | 799,650 | | | | 799,650 | 研修回数 8回 | | | |
| | 広報特別委員会研修費 | 81,950 | | | | 81,950 | 視察研修回数 1回 | | | |
| | 議会だより発行費 | 1,259,102 | | | | 1,259,102 | 年間総頁数 56頁 | | | |